

H27年度 第1回全国グループホーム団体連合会

全国代表者会議及び理事会

日時 平成27年9月5日 13:00～15:00

場所 ルノアール八重洲北口 会議室

出席者 北海道 宮城 福島 群馬 東京 三重 滋賀 京都 高知

議題

- (1) 全国フォーラムについて
(第三回全国フォーラム 進捗状況報告参照)

・参加者について

→9月2日現在、申し込み者54名

各県から10名ぐらいの参加をお願いしたい。

・分科会について

[防災]→水害(火災)に関して話してくれる方を探している。

防災ガイドブックを活用してくださった方のお話でもいいかと考えている。

→地元(京都、三重)からできるだけ発表者を出して、参加者を増やせたらいいのではないかと。

[地域]→中身に関して、詰め切れていない。

[運営]→管理者などのスキルアップも含め、内容を検討している。

→京都、滋賀から発表者1名出してもらったらどうか？

茨城(中村さん)、長崎(森さん)に打診してみてもどうか？

お二人に受けてもらえない場合は、若野さん、喜井さんに依頼してはどうか？

研修委員に一任して決めてもらう。

[現場]→滋賀と京都から1事例を発表予定。

理事は役割をもって盛り上げよう。

役割分担(それぞれの分科会に参加)

防災:群馬県(恩田さん)、沖縄県

地域:福島県(森さん)

運営:東京都(林田)、秋田県

現場:高知県(荻谷さん)、茨城県

- ・シンポジウムについて
 - 最終的に話を詰めて進めてもらう。
 - 前日の夜に行うのか、当日の朝に打ち合わせるのか決めて、お願いします。
 - 次のステップへのイメージが伝わるようにすると、聞いている人に伝わり易いのではないか。
- ・その他
 - 会員が東北、関東が中心なので、遠方のため参加できる人数が少ないのかもしれない。近畿からの参加をお願いしたい。
 - 申込締切日を9月8日から9月15日に延長。
 - 勤務表を作成する時期を考慮してもう少し先にしてはどうか？
 - 旅行代理店が対応できる日程が9月15日になっている。

制度政策委員会から

- ・チェックシートについて
 - 全国フォーラムでの中間発表
 - 集計
 - 9月20日まで各県の5事例を森さん（福島県事務局）に送る。
 - *1枚に集計したものを送ってください。
 - その後、大谷さんがデータにしてくださる。
- 12月に厚労省へ提出
 - 12月13日までに厚労省へ提出予定
 - 2回目は年度明けに。
- ・1月の4日間（2日間座学、残り2日は実習）東京で地域支援相談員の研修実施について
 - 今年は東京で実施してみる。
 - 興味がある県は参加。

研修プログラム（4日間）別紙

東京が気になること

- 東京の人手不足、4日間人が集まらない
- 30名が行く現場
- 東京が全て（現場を決める、終了証を発行など）行うのか？
- 4回参加して、終了証なのか？
- 見守り、声掛け訓練、認知症カフェに関して。私たちが各立場になっての見守りや声掛け訓練であれば、10分もあれば終わってしまうような内容。

制度政策から

→第1回、2回はビデオなどを使って。模擬訓練や認知症カフェのビデオを12月までに作る。3回目は、ロールプレイを行うのか。声掛けのみにするのか。救援を行うのか。
研修の仕組みを再検討する。

東京

→10月中に教えてもらいたい。

(2) 会員増強について

- ・引き続き、長崎、愛媛、埼玉などへの働きかけ
→全国フォーラムがきっかけとなってくれるといい。

(3) H28年度予算について

- ・スケジュール
→12月中に研修・制度の予算額が変わるので注意を。
- ・予算請求
→全国フォーラムの在り方で予算が大きく変わる。
平成28年度は開催するのか？しないのか？

→連合の在り方は、フォーラムに直結。大同連結して解決していく点に絞っていきたい。

地方巡業にならないように。私としては、東京でやり続けること。来年また東京で結束したい。グループホーム存続そのもの。どのように地域でしっかり根付かせるか。

京都の成功があつてのこと。

→面白い、興味を示してもらっているか。それは、求められている姿なのか？
介護報酬の話。グループホームが地域の中で、その役割を果たす必要がある。

→連合会で話し合われていることがフォーラムで話し合われている姿にしたい。

→もう少し参加してもらい、突っ込んだ話をしていきたい。

→目的を明確にするために、フォーラムを開催する方向で。

→会員さんから関係性はどうか？と質問された。

会員の要望は、1つは全国で活動している内容を知りたい。2つ目は1県では解決できないことを解決して欲しい。(制度や料金など)

→どのように解決して国に要望していくか。

そのような集いになるといい。

→年に4回の話し合いを行っている。自分たちが何をすべきか。

時間やお金を掛けて実施していくのか。

→フォーラムは発表の場としては欲しい。大本は代表者会議で回数をこなして行う。

→この会がどのような運営にするか。3月に予定している代表者会議を12月に。会の存続も含めて話し合う。

12月11日14時～予定。

→事前にテーマを具体的にしたら、話し合いができるのではないか。

→その中で予算を決めましょう。

(4) その他

・アンケートについて

→別紙アンケート、実施するのか？この内容でよいか？

実施するかを12月に決めたい。あまり遅くなると意味が無くなる。

同じ項目でなければ、意味が無くなる。

→このアンケートは、どういうもので使われます。があると沢山集まるのではないか。

→数は多ければ、信憑性が高まる。100くらいあるといい。

→内容を確認して、依頼文と全国バージョンの経営実態調査をホームページ上で集計できるように。

(1) 各県の活動

群馬 ウェルカム講習会 (別紙)、認知症相談窓口の手引
東北・福島県大会 10月19日20日 (別紙)
東海フォーラム 11月8日
宮城 実践報告会 9月25日

(2) 入金状況

9月4日現在 福島、東京、京都、宮城

(3) その他

→医療介護総合確保基金

申請については来年の分が今から。10項目が合致することが条件です。

・三役会は11月1日

・次回全国代表者会議及び理事会は12月11日14:00～
その後、忘年会